

◇歴史的建造物を活かしたまちづくり～トレカで建築の記憶を手のひらに

原田正彦(山口近代建築研究会代表)

[初めに]

○原田正彦プロフィール

○まちづくり活動歴

1. 山口県内の歴史的建造物はどこにある？

- ・「やまぐち近代建築ノート」82件にみる県内近代建築の地域的分布
- ・歴建が集まる場所の建築ウォッチングは面白い！
- ・「日本遺産 関門ノスタルジック海峡」の歴建ウォッチング

2. 歴史的建造物の歴史的、文化的価値を広める私の活動

- ① 仲間をつくる、広げる
- ② 建築マップを作る
- ③ 町を歩く、物語を発見する
- ④ 疑問を徹底的に調べ、新たな発見につなげる
- ⑤ 様々な講演会を企画する
- ⑥ ホームページを作成、公開する
- ⑦ Facebook(SNS)への投稿と活用
- ⑧ 顕彰事業を行政と実施する
- ⑨ 地元紙に建築記事を連載する
- ⑩ 地元TVに出演する
- ⑪ 「近代建築ノート」出版！
- ⑫ 「歴史的建造物トレカ」を作成、配布する

3. 「歴史的建造物トレカ」の活用と作成方法

- マスコミによる「近代建築とトレカ」
- 「歴史的建造物トレカ」作成配布のメリット
 - 1) 建築史理解の普及、保存意識の醸成
 - 2) 希少性とプレミア感、コレクション性
 - 3) 若年層への浸透が期待できる
 - 4) シリーズ化すれば、スタンプラリー的展開が可能
 - 5) 観光資源としての再認識、再評価への切っ掛け
- 私のトレカ作成例
- Wordで作成する「トレーディングカード」
 - 1) 「新規」→「レイアウト」→「サイズ」→「その他の用紙サイズ」→幅94mm×高さ69mmとして設定。※実際のカードサイズ(88mm×63mm)より6mm大きくなる
 - 2) フォントや画像のレイアウトはこの範囲内で自由に
 - 3) 外観、内部、細部意匠などの使用画像はあらかじめ準備しておく
 - 4) 最後、保存の際は、*.docxと*.pdf両方で

トレカ表面

サブタイトル(左):フォント「HGP 創英角ゴシック UB」7pt

メインタイトル:フォント「HGP 創英角ゴシック UB」11pt

場所・年代(右):フォント「HGP 創英角ゴシック UB」6pt ※字間は「フォント」で調整

メダル:特に顕彰事業や記念事業ではあった方が良い。ネットでメダル画像を検索し、気に入ったものをWordで取込み、文字を挿入。その際、「背景」を透明にする。その画像をキャプチャして切り取り、「トレカ本体」に挿入する。



コメント(下):フォント「HGP 創英角ゴシック UB」6pt ※
字間は「フォント」で調整

画像:*.jpg形式、解像度の高いものを「挿入」→「画像」で取り込む。画像をクリックして、「図の変更から」でもOK。表画像は全景外観。

背景:カード全体の印象付けに大事なポイント。私は、外壁材料(レンガ、下見板張り、タイルなど)を使用してきた。「デザイン」→「ページの色」→「塗りつぶし効果」から「画像選択」。又は、「挿入」→「ヘッダー」→「ヘッダーの編集」→「画像選択」。これで表裏とも背景画像が挿入される。

トレカ裏面

タイトル:フォント「HGP 創英角ゴ シック UB」8pt

本文:フォント「メイリオ」5pt、400字程度

QRコード:「山口近代建築研究会ホームページ」内の「山口高校記念館」のリンク URL を基にアプリで作成後、画像を貼り付け(かなり小さくても読み込める)。スマホで読み取ると WEB ページにリンク。読みやすく、理解しやすい。

山口高等学校記念館について

大正8(1919)年、新高等学校令により旧制山口高等学校(山口大学文理学部の前身)の設立が決まり、国は敷地を山口町糸糸に定め、文部省建築課山口出張所を開設しました。設置と工事監理は盛岡高等農林学校(大正元年建設/国重文)などの実績を持つ文部技手の谷口鼎(明治15年生、工学校卒)が担当。施工は毛利邸本館を担当した藤井他人らが引き継ぎ、本館は大正9年、講堂は11年に完成しました。戦後、木造の学校建築は鉄筋コンクリート造への転換が進み、昭和40年頃から全面書き替えの計画が進みました。この講堂は同窓会が保存を強く望んだことから、南側に曳家移転して改修を受けた後、今ある記念館としての活用が開始されたのです。

内部は講堂を中心に、梁を格子状に組んだ天井、漆喰の白壁、大きな縦長窓で構成され、吹き抜け中央に下がる大正モダンの照明器具が空間を引き締めています。1999年国登録有形文化財、2021年改修、2024年山口市都市景観賞優秀賞受賞。

やまぐち歴史的建造物カード 発行: 山口近代建築研究会 協力:NPO 法人まちのよそおいネットワーク



近畿大学付属
山口記念館



画像:*.jpg 形式、解像度の高いものを「挿入」→「画像」で取り込む。画像をクリックして、「図の変更から」でもOK。裏画像は内部空間の魅力あるもの。

背景:カード全体の印象付けに大事なポイント。私は、外壁材料(レンガ、下見板張り、タイルなど)を使用してきた。「デザイン」→「ページの色」→「塗りつぶし効果」から「画像選択」。又は、「挿入」→「ヘッダー」→「ヘッダーの編集」→「画像選択」。これで表裏とも背景画像が挿入される。